

第4回委員会ダムWG(2002.10.21開催)結果概要

02.11.12 庶務作成

日 時：10月21日(月)16:00～19:00

場 所：a x ビル4階 アクスネット

参加者：委員：池淵委員(リーダー)、今本委員、江頭委員、倉田委員、田中(真)委員、寺川委員、細川委員、榎屋委員、本多委員

河川管理者：近畿地方整備局 河川部(村井河川調査官、寺井建設専門官、久保田河川計画課長、佐中河川計画課課長補佐、淵上河川調整課長補佐、吉村河川管理課長補佐)、琵琶湖工事事務所(児玉所長、福知調査課長、山本開発工務課長)、淀川工事事務所(宮本所長)、大戸川ダム工事事務所(久保田所長、西嶋調査設計課長、吉岡調査設計課調査係長)、淀川ダム統合管理事務所(井上広域水管理係長)、木津川工事事務所(宇野調査課長)、水資源開発公団関西支社(古川副支社長、上村建設部長、近藤建設部建設課長、岩本建設部建設課主査、片山設計環境課長)、川上ダム建設所(坂田所長、武田調査設計課長、熊川調査設計課長)、丹生ダム建設所(原所長、木戸調査設計課長、今中調査設計課専門役、星野環境課長)、猪名川総合開発工事事務所(田村所長、五十川調査設計課長)

委員傍聴者：塚本委員

1 決定事項

- ・最終提言素案として配布された2案について議論されたが、スタンスに違いがあり、どちらを採用するか、決定するまでには到らなかった。
- ・素案の修正については、池淵リーダーと今本委員に一任する。最終的に折り合いがつかなかった場合は、両論を併記したうえで最終提言作業部会に提出する。

2 主な質疑応答と意見交換

河川管理者より資料3-1を用いて、今本委員からの質問(資料2-1)に関連した情報提供が行われた。その後、委員との質疑応答が行われた。

<主な質疑応答>

- ・現在の高時川からは、丹生ダムによって開発される利水量を上回る水量が琵琶湖に流れ込んでいる。何故、淀川下流の水道のためにダムが必要なのか。(委員)

高時川の流量は、琵琶湖総合開発ですでにカウントされているので、新たな利水量を確保するためには、丹生ダムによって水資源を開発する必要がある。琵琶湖の下流で水が足りなくなった場合、その分を丹生ダムから補給し、琵琶湖へ流す計画になっている。(河川管理者)

冬期から春期にかけて琵琶湖では、BSL+30cmを越える分について放流を実施することで、水位管理を行っている。丹生ダムでは、この放流する分を貯留し

て有効に利用するという考え方で計画が立てられている。(河川管理者)
計画上の数字の計算ではそうなるだろう。しかし実際は、丹生ダムができたからといって、琵琶湖の水量が大きく変化するわけでもないし、淀川下流の水量が増えるわけでもない。計画上の必要性が、実際的な効果と結びついているとは思えない。(委員)

最終提言素案について、2つの案(資料 1-1-1、資料 1-2)が配布され、それらをもとに委員の間で意見交換が行われた。

<主な意見>

- ・WGとして、ダムに対するスタンスをはっきりさせた方がよい。ダムは選択肢のひとつなのか。それとも、最後の手段なのか。どちらのスタンスをとるかによって、最終提言の内容は大きく変わってくる。
- ・新設ダムの中には建設中や計画中のダムも含まれているのか。定義を明確にし、含まれているならば、その旨を明記しておく必要がある。
- ・最終提言素案には「淀川流域における考え方」「地域特性を踏まえた計画」「建設中のダムにおける代替案の比較」「既存ダムの治水・利水機能の活用」の4つのキーワードを盛り込まなければならないと考えている。
- ・「既存ダムの治水・利水機能の活用」を書くのであれば、「不要なダム、或いは自然破壊を引き起こしているダムの見直し(撤去を含む)」についても併記すべき。
- ・ダムについて「総合的に検討する」という書き方では従来と何も変わらない。今後はダムを作ることはできないという前提で計画を考え、どうしても無理ならダムをつくるという考え方に転換しなくてはならない。

これまでは確かに、様々な代替案を「総合的に」判断できていなかったかもしれない。ある一部の人間が計画を決定し実行してきたという面もあるだろう。しかし、様々な代替案の中から、総合的に検討して計画を決定していくというプロセスは正しい方法である。

環境重視の考え方だけでは、カバーできないこともある。ダムについては治水・利水・環境面から総合的に検討すべきだ。

- ・河川法の目的に環境が加わった背景には、ダムによる自然環境の破壊があるのではないか。今後は、既存ダムの再生や機能回復につとめるべきであって、新規ダムの建設は環境面だけでなく社会面からも認められるものではない。
- ・ダム計画を中止した場合の、地元行政・社会・経済への対策も検討しておく必要がある。

以上

説明および発言内容については、随時変更する可能性があります。

最新の結果概要については、ホームページでご確認ください。